2025 年度 国際学科

小論文

〔自己推薦AO(A・B)〕 14・15-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

問題

人生相談の回答者として、以下のAさん、Bさん、Cさんの悩みや葛藤に、論理的で説得力のある文章で答えてください。ただし、カッコ内の言葉を必ず使用すること。

「Aさんの悩み」

キョン、タイワンリス、アライグマなど、かつて愛玩用やその他の目的で日本に移入された動物たちが野生化し、繁殖したことで問題が起きています。農作物や自然林の被害、日本の固有種が淘汰されてしまう危険性などから、こうした生き物たちは「特定外来生物」に指定され、駆逐対象となっているものもあります。しかし、排除に至る判断は正しいのでしょうか。動物たちは一生懸命に生きています。持ちこんだのは人間なのに、不都合が起きたからといって殺してしまうのはあまりに勝手ではないのでしょうか。

(命、生態系、共生)、以上3つの言葉を回答に使用してください。

「Bさんの葛藤」

自分が自分であることの理由を「アイデンティティー」といいます。「日本人のアイデンティティー」といったように、国籍や出身地、性別などと絡めて使われる例が多いようです。でも、私の日本人の友人はみんな違う性格で、単純な言葉で「彼ら彼女らはこうだ」と一括りにすることはできません。本当に、アイデンティティーなどというものがあるのでしょうか。むしろ、国籍や出身地、性別を人格と関連づけようとする言葉の横行が、差別を生み出しているように思えてなりません。

(差異、属性、他者)、以上3つの言葉を回答に使用してください。

「Cさんの悩み」

インターネットでは、人々の多様な意見が溢れかえっています。しかし、自分の意見をアップロードすることで他のユーザーと交流を図るSNSなどでは、ある主張に賛同する人々がグループ化し、近い意見を持つユーザーのみで「友だち」を増やしていく傾向があ

るように思われます。その結果、主張が違う人々との交流は絶たれ、むしろ敵対化することによって、人々の分断が進んでいるような印象を受けます。本来、人間はこのような存在なののでしょうか。どんなに情報技術が進んでも、そこでやり取りされるのは私たち人間の言葉です。デストピアではなく、ユートピアを実現するために、私たちは「言葉」についてどのような可能性を追求していくべきなのでしょう？

(関係性, フィルターバブル, 共感, 認識, 受容), 以上5つの言葉を回答に使用してください。